

第4回 レッツゴー!ハンド・イン・ハンド 2015

(株)第一コンサルタンツ 右城猛

11月15日、坂本龍馬記念館の前に立つシェイクハンド龍馬像と、桂浜の龍馬像までの540メートルを握手の鎖でつなぐイベント「レッツゴー!ハンド・イン・ハンド」があった。

これは2012年から始められて今年は第4回目となる。坂本龍馬の誕生日で命日でもある11月15日前後の日曜日に開催されている。

今年は龍馬生誕180年の節目の年。誕生日が日曜日に当たるのは数年に1回。特別なめぐり合わせの日である。

朝の6時半から家内と一緒にスタッフの一員として参加した。



太平洋からの日の出。昨日の雨天とは打って変わって天気は晴朗。



イベント参加の受付は6時30分から開始された。



第一コンサルタンツからは西村研了君が家族4人で参加。



桂浜と竜王岬。日本一の絶景。



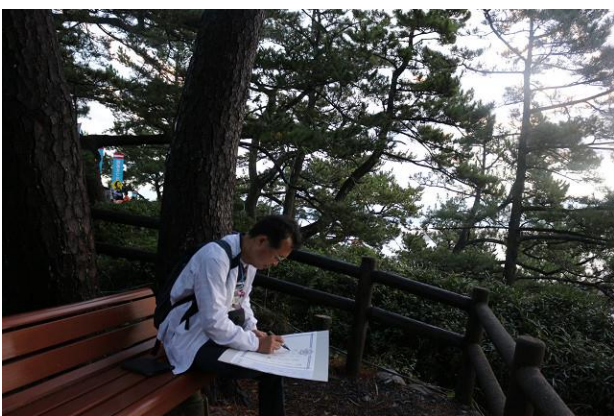
太平洋を眺める坂本龍馬の銅像。高知県の青年達が寄付を集めて昭和3年に建立した。



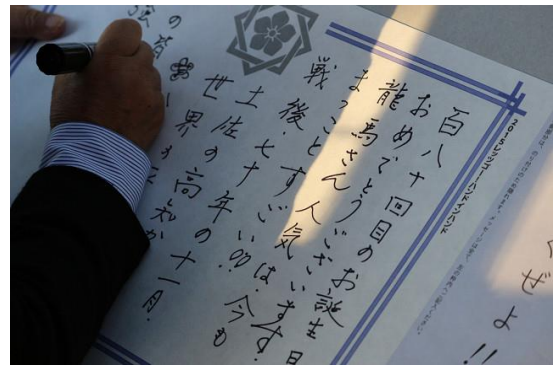
「桂浜・龍馬プロジェクトぜよ!」チームのメンバーは、よさこい鳴子踊りの衣装で参加。



坂本龍馬像の前には、このイベントを考案し企画した森健志郎館長の遺影が置かれた。



龍馬への手紙を書く筆者。普段はワープロを使用しているので漢字が出てこない。字も思うように書けない。情けない。



横で書いていた女性の手紙。達筆です。



子ども達も手紙を書いている。



桂浜水族館のペンギンさんもイベントに参加。



7時30分。「レッツゴー! ハンド・イン・ハンド」のイベントが開始。



「土佐おもてなし勤王党」も参加。



挨拶をする坂本龍馬



北海道浦臼町の斉藤すみお町長の挨拶。浦臼町には坂本龍馬の墓がある。



本山町の今西芳彦町長の挨拶。本山町と浦臼町は姉妹都市の関係にある。



坂本龍馬記念館学芸員の前田由紀枝課長の挨拶。森館長が他界した後の実質的なリーダー。



坂本家第十代目当主坂本匡弘(ただひろ)氏の挨拶。



前田課長が案内してソフトバンクの孫正義社長が来られた。



孫社長は、森健志郎館長のスタッフ・ジャケッ

トを着て、下記の挨拶をされた。

『高校一年生で中退してアメリカに渡った。もし龍馬さんのことを本で知らなかったら現在の私の人生は全く違ったものになっていた。』

人生の変わり際には、5回、全8巻の「竜馬がゆく」を読んだ。毎回読むたびにもっと大きな人間にならなければいけないと龍馬さんに励まされた。

龍馬さんの像の前に来ると今日現在の私が何とちっぽけな男か、もっと励まんといかん、志を高く持たんといかんと改めて決意した。

今日ここに来たきっかけは、森館長が、「孫さん龍馬の生誕180周年を一緒に祝おうでないか」と声をかけていただいて、すぐに決意してここに参った。森館長の思いを着ていっしょにこの場に参加させていただいた。

皆さんは1つだけ共通していることがあると思う。みんな龍馬さんを好きだということです。あんなにすがすがしく、あんなに素晴らしく、やさしく、世界のあらゆる人々の幸せを願った人はいないと思う。

自分は龍馬さんが好きだと言う人に、悪い人はいない。それだけでグッと皆さんと近づいたように思う。

龍馬さんが思い描いた幸せのために皆で力を合わせ、素晴らしい世界の人々の幸せを祈って、また森館長の思いを背負って今日のイベントを祝いたいと思う』



ハンド・イン・ハンドの開始は8時30分。1,100

人全員が手をつないだ。カウントダウンと「龍馬さんに誓う現代こころ八策」(森健志郎・作)の先唱は森館長の役目であったが、今回は孫社長によって行われた。孫社長が一項目読むと、それに続いて全員で唱和した。

- ①家族を大切にしよう。
- ②お年寄り、先生を敬おう。
- ③友だちと仲良くしよう。
- ④思いやりの心を持とう。
- ⑤正々堂々と歩もう。
- ⑥志は高く持とう。
- ⑦勇気を持って行動をしよう。
- ⑧レッツゴーハンドインハンド!(手をつないで前へ進もう)

唱和していると、森館長を思い出して涙が出てきた。多くの人が同じ気持ちであったと思う。

このイベントに参加した子供は、きっと心が優しく、高い志を持つ人になるに違いない。



坂本龍馬記念館の前のシェイクハンド龍馬像の前で、イベントに参加した園児たちが記念撮影。



私も久しぶりに龍馬さんとシェイクハンド



坂本龍馬記念館の入り口には、11月2日に胸部大動脈瘤破裂で急逝した森健志郎館長の遺影が飾られていた。腕を組んで満面の笑顔を浮かべた写真は、亡くなる前日に学芸員の前田由紀枝さんが撮ったもの。



森館長の遺影の前でギターを弾く「いちむじん」



家内は、よさこい鳴子踊りの着物の背中にサインを貰った。



私もトレーニングジャケットの背中にマジックでサインをして頂いた。孫さんの大きな運を少し分けていただいた。

私の右手は孫さんと握手し、左手は孫さんの肩を抱いている。写真には写っていないのが残念。家内に文句を言うと、「あまりにも人が多く混雑していたので離れて撮るのは無理」。



家内が「桂浜・龍馬プロジェクトぜよ!」のチームで「よさこい鳴子踊り」を一緒に踊った仲間。踊りの意匠が派手なので目についたのだろう。桂浜荘でコーを飲んで外に出たときに、「冥土の土産にしたいと」と老婆に頼まれて、一緒に写真を撮る。

「レッツゴー!ハンド・イン・ハンド」を発案・企画し、寝食を忘れて準備を進めていた森館長が11月2日に突然逝去した。

森健志郎館長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌。